

身体は守ってくれても財布は守ってくれません！

近い将来、新車の販売の際に義務化される『衝突軽減ブレーキ』等の安全装備ですが、平成20年にスバル・レガシイに国産車として初搭載されて以降、年々進化されて今では対応速度がどんどん上がり、更には動いている人や自転車にも反応したり、バックの際にも自動ブレーキが効いたり、どんどんアップデートされてきていますので、よそ見などでのウツカリ追突事故がどんどん減っているようです。

『事故が減ってるなら保険代が安くなるよね？』と思われる方も多いでしょうね、はい、対人賠償の自賠責保険は4月から値下がりします。しかし！！任意保険は値上がりするのです！！

『え！？なんで？事故減ってるなら賠償金の支払いが少ないんやから安くならんとおかしいやろがあ？？』っと思っちゃいますよね？

タイトルと冒頭分でお気付きの方も多いかと思いますが、『衝突軽減ブレーキ』等の安全装備が進化するにつれ、前後に様々な『センサー類』が数多く付いているのですが、これが非常に高いのですねえ・・・

絶対にぶつからない訳ではないので、万が一バンパーをぶつけて、裏側にあるセンサー類を損傷したら車種によっては数十万円の見積りが・・・

センサー自体が高いのに加えて、取り付けし直した場合、コンピューターセッティングをし直す必要があるそうです。以前の様な障害物が近くにあるのを音でお知らせするセンサーだけなら然程高くないのでしようけど、最近のは感知精度が段違いですし、『衝突軽減ブレーキ』の場合はレーダーやレーザも付いていますので一段と高額になります。つまり、衝突事故は減ったけど、一件一件の修理代の賠償金額が非常に高額なため保険代が上がるというスパイラルになっているのですねえ・・・

安全装備のセンサー類が損傷して、更にエアバックが開くような事故になると修理代金が100万円を軽くオーバーするため、車両保険に入っていない場合は、直すという選択は正直難しく、ローンで購入している残債が沢山ある場合、新たに借り入れしての買い替えは二重ローンとなりますので、『車両保険』の加入をお勧め致します。ぶつけたら高いとはいえ、まずは事故しない事が大事ですし、加害者にも被害者にもなりたくないですから『衝突軽減ブレーキ』付きの車両の方が益々人気なので、付いている車は高く買取り可能ですから、お声掛け宜しくお願い致します！

